

9月21日 全国の護国神社で同時開催

「憎悪」による同時多発テロでなく、「愛」による同日開催の奉納祈願

趣意書

全国の護国神社は英霊を祀るため、どうしても戦争、軍国主義のイメージをもたれがちです。しかし、実際に参ってみると戦争礼賛ではなく、「平和」を願う石碑がそこかしこに建立されています。また、一般の神社よりも清浄で穏やかな雰囲気のお宮も少なくありません。

英霊の多くは未来ある若者たちでした。世界が平和で戦争さえなければ、死ななくて済んだ方々です。英霊にとっても、世界平和は本願だったはずで。

同時に護国神社を支えている氏子崇敬者は主に遺族や戦友です。しかし、戦後七十二年が経ち、その遺族や戦友がいなくなれば、対策を講じない限り、衰退する護国神社もでて参ります。

そこで九月二十一日の「世界平和の日」に、全国の護国神社で「世界平和」を祈念した奉納イベントを同時開催いたします。そして、本来の創建趣旨を損なうことなく、護国神社を戦争や軍国主義のイメージから、「平和を願う聖地」に変えます。そればかりかこの活動を日本の「和の精神」を国内外に発信する、国民的な運動にしたいと考えています。

護国神社が持つ「戦争」という負のイメージを、「平和」という清浄な光のイメージに転換することで、はじめて日本の霊的な戦後は終わり、新しい時代を迎えることが出来ると思います。

このプロジェクトの目標の一つは、ニューヨークの国連本部にある「日本の平和の鐘」の前で、「世界平和」と「以和為貴」の奉納揮毫を行うことです。奇しくも「世界平和の日」に、毎年国連で「日本の平和の鐘」が鳴らされることは、この目標を掲げる上で必然だったといえましょう。

和プロジェクト TAISHI 代表

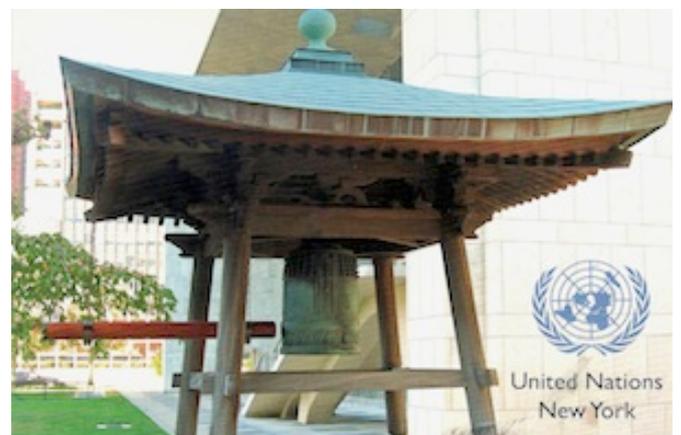
『この国を愛するために靖国』著者

宮本辰彦

<http://www.tatsu.ne.jp/wa>

日本の平和の鐘 (Japanese Peace Bell)

九月二十一日は国際平和デー (International Day of Peace) で、世界平和デー (World Peace Day) ともいいます。この日は国連本部に設置された、「世界絶対平和万歳」と刻まれた日本の平和の鐘 (Japanese Peace Bell) が、国連事務総長によって鳴らされるセレモニーが、毎年開催されます。この鐘は中川千代治によって、今から 60 年ほど昔に国連に寄贈されました。 <http://peace-bell.com>



和プロジェクト TAISHI の「TAISHI」は聖徳太子の「太子」、大きな志の「大志」、和と愛を世界へ伝えるアンバサダーとしての「大使」を意味します。2022 年の聖徳太子ご聖忌 1400 年に、「和の精神」が最初に明文化された『十七条憲法』を世界遺産に登録することを目指しています。日本の心であり、宝ともいえる「和の精神」を国内に改めて広く伝え、さらに「WA」という新たな概念 (循環と寛容と調和の精神) として世界へ発信するためです。